

いけだ町 議会だより

No.
120

2006.5



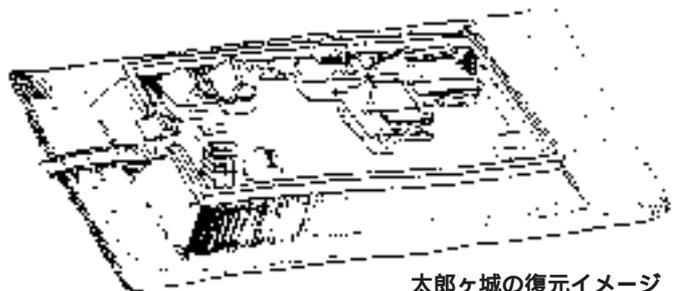
池田町無形文化財
片山八幡神社市軸

主 な 内 容

平成18年3月議会.....	2 ~ 3
一般質問.....	4 ~ 6
常任委員会レポート.....	7 ~ 9
特別委員会レポート.....	10 ~ 11
編集後記.....	12

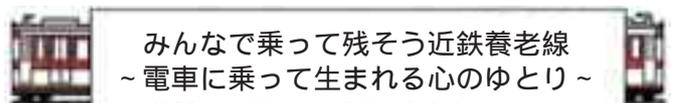


温知小学校改築工事現場にて
太郎ヶ城跡発掘調査が行われる。



太郎ヶ城の復元イメージ

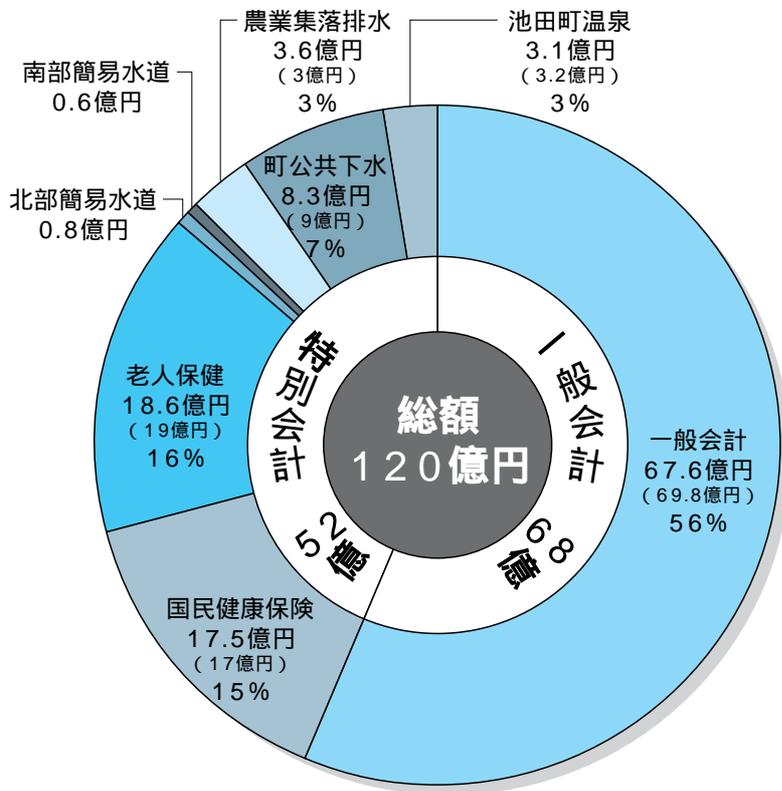
池田町 第四次総合計画 後期5ヶ年スタート



みんなで乗って残そう近鉄養老線
～電車に乗って生まれる心のゆとり～

18年度予算可決

一般会計	67億6,400万円	前年比 3%減 (69億7,900万円)
特別会計	52億4,400万円	前年比 1.8%減 (53億4,020万円)
総額	120億 800万円	前年比 2.5%減 (123億1,920万円)



数字は全て四捨五入してあります
()は前年度です

今議会の内容

- 町長の18年度施政方針演説
- 予算の提案説明
- 41議案・1意見書審議・可決
- 議会人事決定

本年度の重要施策

- 一、少子化対策支援事業
- 二、災害に強い防災街づくり支援事業
- 三、教育環境整備事業
- 四、循環型社会形成システム構築事業

特別職の報酬12%カット(改正後の報酬)

町長	70万6千円
収入役	52万円
議長	29万円
副議長	25万5千円
議員	23万8千円

今定例会は、平成18年度の池田町の方針を示す最も重要な一般会計予算67億6千万円、特別会計予算52億4千万円をはじめ、土地開発公社事業計画、事業会計予算の報告案件。岐阜県市町村職員退職手当組合等々の規約変更及び改正案件5件。池田町議会の報酬の特例に関する条例等の改正・変更案件13件。土地の取得の案件、17年度一般会計及び特別会計の補正予算等を各委員会へ審査を付託し、その内容を各委員長が議会へ報告後、全案とも原案どおり可決した。

最終日には、議長、副議長等の選挙を行い議会人事構成を行った。

平成18年度議長、副議長決まる



議長 議員
小林 春男



副議長 議員
高橋 守

就任ご挨拶

厳しい自治体運営が迫られます。昨今、地方分権が本格化してまいります。行政の究極の目的は、町内住民の皆さんの「幸福」な生活に、如何にお役に立てるかが課題であります。

今後共、簡素で効率的な行政を行うなかで安心して安全なまちづくりをしなければならぬ重要な時期に議長、副議長を命ぜられ、その重責を痛感しながら、光栄に存するところであります。議会内に行財政改革特別委員会を設けて審議を重ねていきますが、財政運営がその基本であり、如何に住民主体の基本理念、即ち普

通建設事業、扶助費の充実が肝要であります。皆さんから、ご負担いただいております税を有効に生かし、住み良い郷土、町づくりを全身全霊を傾注致し励んでまいります。

どうか、温かい、ご支援とご理解をお願い申し上げます。就任のご挨拶と致します。

監査委員の選任同意



監査委員 議員
森嶋 和明

池田町議会常任・特別委員会等名簿

名称	定数	氏名 (委員長 副委員長)	就任年月日
議長	1	小林春男	平成十八・四・一
副議長	1	高橋守	"
監査委員	1	森嶋和明	"
総務委員会	6	安田正治 松岡雅子 坪井澄夫 森嶋和明 北角正郎 久保田重男 牧村隆 近岡斌 松岡正彦 岩谷真海 小林春男 高橋守 坪井澄夫 野網義一 安田正治 岩谷真海	"
民生文教委員会	6	北角正郎 久保田重男 牧村隆 近岡斌 松岡正彦 岩谷真海 坪井澄夫 野網義一 安田正治 岩谷真海	"
建設産業委員会	6	松岡正彦 野網義一 小林春男 高橋守 坪井澄夫 野網義一 安田正治 北角正郎 岩谷真海 久保田重男	"
議会運営委員会	8	安田正治 野網義一 坪井澄夫 岩谷真海 松岡正彦 久保田重男 近岡斌 細野清身 岩谷真海 安田正治 松岡弘子 牧村隆	"
下水道特別委員会	8	松岡正彦 窪田弘子 近岡斌 五十川省五 森嶋和明 高橋守 久保田重男 牧村隆 久保田重男 松岡正彦	"
行財政改革特別委員会	8	久保田重男 松岡正彦 森嶋和明 牧村隆 久保田重男 五十川省五 五十川省五 北角正郎 久保田重男 近岡斌 久保田重男 久保田重男	"
議会広報編集委員	6	久保田重男 松岡正彦 森嶋和明 牧村隆 久保田重男 五十川省五 五十川省五 北角正郎 久保田重男 近岡斌	"
池田町計画審議会委員	8	細野清身 野網義一 窪田弘子 安田正治 松岡弘子 安田正治 森嶋和明 松岡正彦 久保田重男 牧村隆	平成十八・四・一 (二年任期)
消防委員会委員	6	久保田重男 松岡正彦 森嶋和明 牧村隆 久保田重男 五十川省五 五十川省五 北角正郎 久保田重男 近岡斌	"
国保運営協議会委員	6	久保田重男 松岡正彦 森嶋和明 牧村隆 久保田重男 五十川省五 五十川省五 北角正郎 久保田重男 近岡斌	平成十八・四・一
池田町農業振興地域整備計画協議会委員	7	安田正治 野網義一 細野清身 久保田重男 安田正治 久保田重男 北角正郎 久保田重男	"
養基小学校養基保育所組合議会議員	2	北角正郎 久保田重男	"
池田町有線放送電話農業協同組合理事	2	野網義一 松岡正彦	平成十七・四・一 (二年任期)
土地開発公社理事	6	細野清身 小林春男 松岡正彦 安田正治 坪井澄夫 高橋守	平成十八・四・一 (二年任期)
土地開発公社監事	1	坪井澄夫	"
揖斐広域連合議会議員	4	小林春男 北角正郎 坪井澄夫 高橋守	平成十八・四・一 (二年任期)
西美濃さくら苑介護老人保健施設事務組合議会議員	2	小林春男 北角正郎	平成十八・四・一 (一年任期)

注：任期の記載がないものは一年任期とする

緑あふれる池田町にするために 池田温泉は町民みんなの 「ふくしの湯」

窪田弘子
議員

5月苗の植え替え



宮地小学校
桜を種から育てている所

先輩が育てた苗を植え替えます。山土と砂を混ぜて、土づくりをします。200本ほどの苗を植え替えました。



緑のボランティア講座を立ち上げ、官民協働で住みよい池田町に

Q 平成12年、すばらしい「池田町緑の基本計画」ができて、5年経過したが良くなったか。

A 池田・霞間ヶ谷・南部の基幹公園の面積は約14haに増加。植樹・緑化は地域の皆さんの合意がないと難しいが、その大切さをこれからも十分PRし取り組む。

Q 高齢化社会となり緑に関心のある町民は多い。ジュニア町議会でも中学生が提案していたが、10年先、20年先を見越し、子供達にも参加してもらったらどうか。

A 大変良い提案なので、前向きに検討し進めたい。

「ふくしの湯」池田温泉

Q 料金減免は今の位か。

A 広報の無料券（利用52%）敬老会で配布の入浴券、障害者割引等で全体の5%程。

Q ふくしの湯（個室）は充分利用されているか。

A 「ふくしの湯」は、平日と土曜日、一日4回開けており48%の利用率となっている。池田町民の利用は少ない。



ゆったりと入れるふくしの湯（個室）
障害者の方には、リフトもあります（右）

Q 4月から65才以上の町民は入浴料250円となり、老人福祉にとつてよい事だ。対象者は4700人で町民の2割に当たる減免となる。事前に議会にはかるべきではなかったか。

A これからは議会とよく話し合って進める。町民に少しでも多く利用してほしいと思つての事だ。
Q 私は多くの温泉へ入り、ここの泉質は天下第一品だと思つた。
A 池田温泉は非常に価値ある池田町の宝だと思つている。

議会と行政と住民の役割をどう考えるか 安心・安全のまちづくりネットワークについて 巨大地震に対する防災対策を急げ ／子供の安全を守るためのネットワークは 子どもたちの日本語力の低下について

倉地幸子
議員

議員定数は議会が責任を持って決めるべき

Q 12月議会で議員定数は14名と決まったが、

区長会はまだまだ多いと議会解散署名を主張。町長は「解散署名をしない代わりに6月以降の議会で12名を提案する」と議会で話し合いもなく区長会と約束の上、新聞発表。こんな形でしか決められないとは議会として情けない。憲法で保障されている議会の重要性からして議員は慎重に調査・論議して責任を持って決めるべき。私が調べた50あまりの他県の議会にはない事である。町長が介入することではない。

A できればそうしたいが、区長会と議会の

関係の現状からしたらやむをえず、調整に入るのが良いと判断した。議会解散署名をやると町政が混乱する。区長会と話し合った結果であるので議会でも十分議論

してほしい。

活断層による直下型地震への啓蒙を急げ

Q 30年以内の東海地震の発生確率は87%、

南海地震は50%、東南海地震は60%までになっている。その影響で養老〜関ヶ原活断層による地震被害が懸念されている。防災会議と対策はどうかっているか。

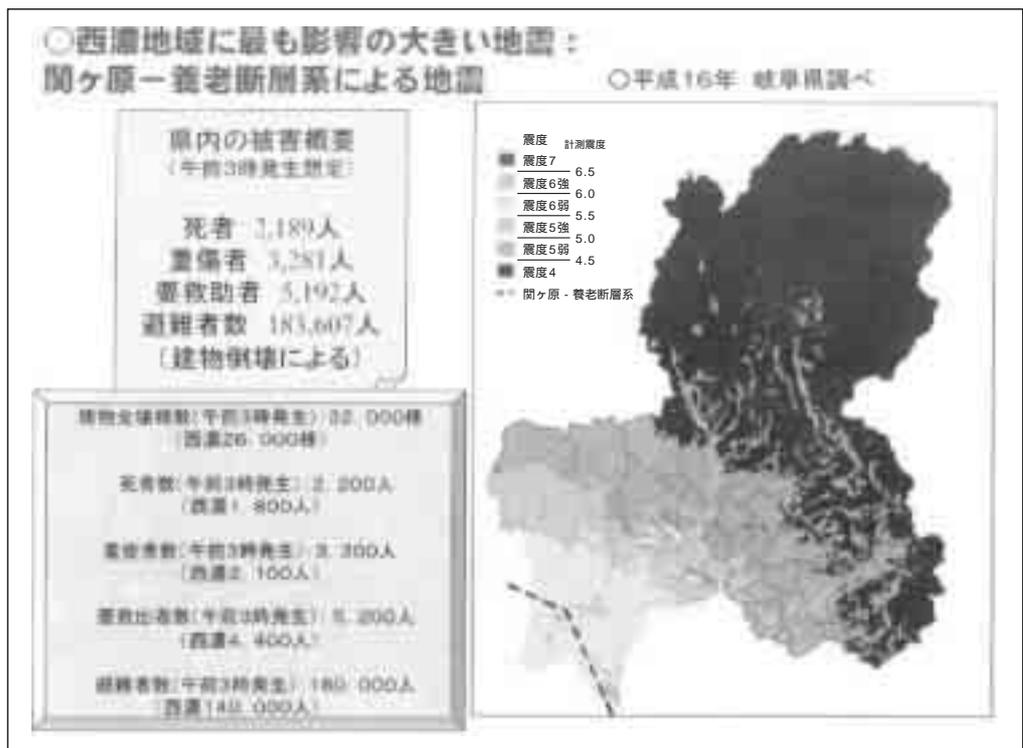
A 今年は防災無線を設置したので防災会議を開き、組織の充実と対応を検討する。

子供たちの日本語力(国語力)の低下を防ぐために

Q 国語力はすべての教科の基本的な力である。そのために学校の果たす役割は。

A 早朝読書や学校図書館を利用した総合学習の成果で読む・話す力は

ついてきた。特に八幡小学校は3年連続で西濃図書館優秀賞を受けている。今後は聞く・書く力の不足を補いたい。



一般質問

野網義一
議員

歴史民俗資料館がなくても 高畑遺跡や南高野古墳の 出土品の展示を



南高野古墳：洪水で埋没した未盗掘古墳で内部を赤く塗った石室から金銅装馬具や装飾付の須恵器など、貴重な出土品が多数発見された。



高畑遺跡：奈良時代の寺院跡が見つかり、瓦や奈良三彩など当時の政府と密接なつながりを示す遺物が多く出土した。築地塀の痕跡が発見され、寺院全体の規模や構造の解明が今後の課題。

高畑遺跡や南高野古墳の資料を町民に公開を

Q 片山の高畑遺跡や南高野古墳などの貴重な遺物が県博物館をはじめ各地で展示されているのに、地元の方が知らないのは残念。地元公開を、「戦争の思い出を語る特集」を記録したテープが有線農協から図書館に寄贈されたが、死蔵されているので有効活用を

A 中央公民館の資料室を活用し展示できるように、テープの複製版を作って公開します。

災害の起こらない工事を

Q 平成16年度に片山の成谷に開設された作業路は山側を切って谷側に盛っただけの工事で、すでにあちこちで崩れている。工法の改善と応急処置を望む

A 崩れたところは森林組合と調整し手当てしたい。工事関係の見直しも図りたい。

子育て支援の充実を

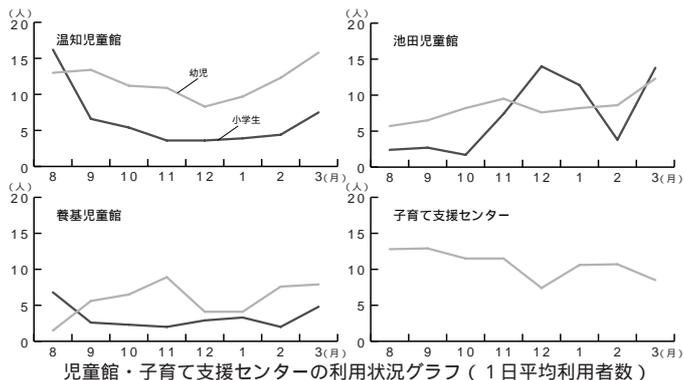
Q 準要保護家庭が大幅に増加しているが、認定基準を明確にされたい。児童館の利用が少ない。日曜日の開館はどうか。福祉医療費の小学生・中学生への拡大は歓迎する。

A 準要保護の制度の趣旨、申請手続きなど広報等を通じ周知徹底したい。日曜日の開館については検討課題。

町長は議会とコミュニケーションを図れ

Q 議員定数をめぐる区長会での確約は、議会、軽視、老人の入浴半額導入、近鉄線問題等、町長は議会に対し情報提供やコミュニケーションを。

A 定数を提案した場合に十分議論を。近鉄については残す方向で一緒になって研究していきたい。



障害程度区分認定委員会できる。

付託案件

- ・非常勤の特別職職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・議会議員の報酬の特例に関する条例
- ・非常勤の特別職職員の報酬の特例に関する条例
- ・常勤の特別職職員の給与の特例に関する条例
- ・教育長の給与の特例に関する条例
- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例
- ・国民保護協議会条例
- ・平成17年度一般会計補正予算第13号。
- ・平成18年度一般会計予算(所掌事項)。

主な審査の内容

Q 障害程度区分認定審査会とはどのような委員会か、また委員の報酬は適正か。

A 障害者がサービスを受けるにあたり、的確なサービス支援が受けられるかどうかを決める委員会であり、医師等の5名で構成され、月額一万四千円の報酬でお願いしたい。

Q 議員報酬12%の減額と費用弁償のカットは、若年議員の活動に支障はないか。

A 報酬審査会ではもっと減額すべきとの意見もあった。

Q 個人情報保護審査会は開催されたが、一年間開催されない委員会はないでしょうか。

A 今後整理をしていきたい。

Q 池田町国民保護協議会の開催頻度は、市町村レベル単位ではなく、国レベルのものではないか。また私的財産は国防のために没収される事はないか。

A 18年度に開催予定をし

ており、町を守る意識を高める事は必要であり、財産の没収されることもありうる。

Q 交通安全施設整備はどのように進められるか。

A 地元よりの要望を精査し例年の規模で整備を進める。

Q 防災コミュニティセンターが市橋地区に建設される計画であるが、どのような内容であるか。

A 公共下水道事業での終末処理場を市橋、片山南地域で受けていただくにあたり、特に杭瀬川の東側は大雨のたびに溢水の被害をこうむっている。そういった中で避難場所も考慮した。防災資材の倉庫や会議室等も含めた施設を建設したい。

Q 固定資産税の評価見直しは行われたか。

A 平成17年度以前に建った物は、全て見直した。

Q インターネットの池田町ホームページに広告を

募集してはどうか。

A 広告が掲載企業の選択が難しいが、考えたい。

Q 庁舎内等で個人PCの接続使用で、情報の流出はないか。

A 個人PCの庁舎内の接続は禁止されている。更に先日の課長会議でも、データの持ち出しも含めて禁止徹底を図った。

Q 固定資産評価システムの中で地図システムがあるが、かつて計画のあった農地転作事務その他への有効活用、利用をしてはどうか。

A 建設課へは、立ち会い関係や、占用関係のデータは貸し出しをしている。今後法整備等が進めば、更に利用、活用がしやすくなる。

障害者自立支援法施行

主な審査の内容

Q 医療費補助を通院は小学3年生、入院は中学3年生まで拡大したが、通院を小3までとした根拠は何か。

付託案件

- ・福祉医療費助成の改正
- ・ことばの教室の設置及び管理の改正
- ・ねたきり老人等在宅介護手当支給の廃止
- ・長寿者褒賞条例の改正
- ・障害者福祉給付金条例の改正
- ・障害程度区分認定審査会委員の定数を定める条例
- 平成17年度
 - ・一般会計補正予算
 - ・国民健康保険特別会計補正予算
 - ・老人保健特別会計補正予算
 - 平成18年度
 - ・一般会計予算
 - ・国民健康保険特別会計予算
 - ・老人保健特別会計予算

A 子育て支援政策の一環として考えており、小3までは発達段階で医療費もかかるし、両親も若い世代で経済的負担が大きい。

Q 障害者自立支援法が4月から施行になるが、サービスの利用料等はどうなるか。

A 今までは所得により同じサービスでも利用料が違ったが(応能負担)、これからは同じサービスを受けた場合、原則として利用者は1割の負担となる(応益負担)。

Q 身体障害者4級、知的障害者B2は、障害福祉給付金がなくなるが何らかの方法でカバーできないか。

A 自立支援法の活用を進めて行くと同時に、社会福祉協議会を通じ関係諸団体と相談しながら障害者福祉を率先して進めていく。

Q 生ごみ処理機は補助金を出しているか。その追跡調査はしているか。シュレッダーはどうしているか。

いるか。ボカシの利用者は多いので補助金を出す事によりごみの量が減ると思われるかどうか。

A 生ごみ処理機は2万円の補助金を出している。アンケート調査などで追跡調査を行っている。シュレッダーは広報で禁止とした。今年度初めて池田町から出るごみの量が減少した。今後もボカシ容器については補助する。

Q 小学1年生からの英語学習はよいことだと思いが児童には負担ではないか。

A 国語力も大切であるが、小さいころから英語に親しみ、楽しむことも大切と考えている。

Q ジュニア町議会で大変よい質問があった。その生徒達に必ず結論を聞かせてやってほしい。

A 4月の広報紙に議事録をのせる予定であり、質問、要望のうち既に何点かは担当課と相談し実現に向けて進めている。体育館のトレーニング

ルームの器具の増設と指導者の増員が必要ではないか。

A トレーニングルーム無料体験教室を年2回開催して、初心者への指導、トレーニングメニューの指導も行っている。器具の増設、指導者の増員は検討する。



総合体育館トレーニングルーム

Q 老人医療費が1人当たり100万円と高い。予防的取り組みを考えては、町として食生活改善、食から変えていくことをお願いしている。また、運動から取り組むことも必要であり軽スポーツ等への参加等も積極的に進めている。

池田温泉老人割引50%決定

建設産業委員会

3月15日開催

主な審査の内容

土地の取得

Q 防災コミュニケーションセンターは出来るのか。

A 地域の補償問題として

明渡橋の東あたりに、市橋地区の避難所を兼ねた施設を建設する予定。

Q いつ頃、土地開発公社が取得したのか。

付託案件

- ・土地の取得
- 平成17年度
- ・一般会計補正予算
- ・北部簡易水道事業
- 他4特別会計補正予算
- 平成18年度
- ・一般会計予算
- ・北部簡易水道事業
- 他4特別会計予算
- ・水道事業会計予算



狭い道路には待避所を設置

A 平成14年度前期に取得し、今回で公共下水道と南部公園との一大プロジェクトの用地取得は完了した。

道路維持補修

Q 道路に穴ぼこがあり危険である。点検、補修等はできているか。

A この冬の豪雪と凍結で大部痛んでいる。痛んでいる箇所を点検しながら常温合材で補修している。

Q 集落の道路は、ほとんどが4m未満で改良など出来ないのでは、部分的な角切り工事に対応したら

どうか。

A 国・県等の補助事業にローカルルールがあり、一概に同一の幅員で拡張を行わずに、部分改良を進めたい。

Q 県道大垣・池田線で、大垣市円興寺側の改良が進んでいないがどうなっているのか。

A 大きな懸案事項として認識している。地域の理解が得られるように大垣市、大垣建設事務所に要望していく。

Q 仮称梅谷トンネルの正式名称は。

A 梅谷は不破郡垂井町の地名であり、トンネルの長さの池田町分が4分の3もあるので池田町側の名称をつけるよう地元の見解を聞く場を設けたい。

観光施設

Q 管理費増となっているが何か計画はあるのか。
A 観光PR活動に努め、

看板等の整備、霞間ヶ溪の登山道、本郷駅駐輪場の整備の計画を予定している。



美濃本郷駅駐輪場の様子

池田温泉

Q 駐車場の舗装計画はあるのか。

A 側溝蓋の修繕も含めて新年度で実施する予定。

Q 温泉の高齢者特別割引はどの様に考えているか。

A 町内の65才以上の人に健康維持をして頂き、医療費も下がる事を望んでいる。また、町民の利用者も少なくこの機会に倍増することを期待している。

今年度の管路工事施行予定は！！

平成17年度工事の進捗状況、平成18年度管路工事予定箇所、農業集落排水処理施設および池田浄化センターの水質検査結果の説明を受けた。

Q 平成17年度施行（42・7ヘクタール）に比し18年度（24・2ヘクタール）の整備予定面積の少ないのは。

A 平成17年度は国の助成等財政関係で出来るだけ施行したが、町の平年ベースは25ヘクタールを基本に計画している。
Q 農業集落排水処理施設で加入率の低い所があるが貴重な税の運用上どうか。
A 若夫婦が転出し、老人世帯が多く、若夫婦が



18年管路工事予定地

Q 戻ってきたら農集に接続すると聞いているが、早期加入されるよう努力する。

A 浄化センターの浄化槽増設により排水量も増加するが現在の排水路では問題ありと思うが、変更の考えはあるか。
Q 時期はいま明言できないが、今後量を含めた中で検討し支障のないよう進めたい。
A 今から下水道工事にかかる地域について、完成後の加入率、接続率を高めるためにも早期（2）



浄化センター増設工事

A 3年前）に説明会を行ない関係者の資金計画等に資するよう配慮されたい。意に沿えるよう説明会を計画していく。

農業集落排水、公共下水道使用料について。
 西濃地域の使用料金、農業集落排水事業の適正使用料、合併処理浄化槽の維持管理費用、合併処理浄化槽7人槽の維持管理費用と同等で設定した改正目標の説明を受けた。

Q 平成19年4月から、改正に向けての合意形成、水道料の面も考慮した値

A 上げの検討、他町村の料金値上げの動向、浄化槽管理費用（プロアー含）の見直し、基本料金、人員算定基準日の運用、全納一括報奨金、指定店手数料の見直し等、総合的に町民全体の負担と恩恵の公正化も配慮し慎重に検討されたい。

A 公共料金等の値上げラッシュとなってくるので、十分に説明をしてご理解合意が得たい。使用料の改正については、収支の面だけでなく環境面での公共の必要性等を考え町の方針も含めて検討したい。
 以上使用料値上げ問題については、継続審議とした。

行財政改革実施計画案について審査

主な審査の内容

- Q** 削減額だけではなくサービスの拡大につながる経費（増額分）も計上すべきではないか。
- A** 窓口サービス、図書館等業務の延長は超勤ではなく、フレックスタイム、代休制度を導入する。サービス拡大については適切な額を計上したい。
- Q** 農業委員が20名に削減されたが支障はないか。
- A** 農業委員の削減は支障がないと考えている。これからは、今までの転用だけではなく土地利用や農業施策も審議する予定。
- Q** 維持補修費の見直しで、道路、下水道等で効果が大きいなどの様な見直しをしたか。
- A** 道路等の工法の見直しは、従来、路側の構造物で施行してきたが、土羽で仕上げる工法に見直した。下水道については、マンホール間の延長を長くとする方法やマンホール口径の小さいものを採用し経費の軽減を図った。
- Q** 企業の誘致についてはどうなっているか。
- A** アピ株式会社より用地の申し込みがあり担当者が用地の折衝をしている。他にも用地の申し込みがあり、土地利用計画を立て企業誘致する場所を決めていきたい。
- Q** 婦人防火クラブ員の削減が挙がっているが、災害対策上支障はないか。
- A** 消防団組織の見直しと連動して見直すもので、防災ネットワークは、各集落ごとの自主防災の組織化を図り、その中で弱者の把握、支援体制のマニユアル化をしたい。
- Q** 特別職の報酬削減12%の根拠は。
- A** 12%の根拠は報酬審議会の答申で、類似団体、近隣町の状況を参考に

ろいろな意見の集約が図られ、結果として12%となった。

Q 指定管理者制度の活用について、図書館、学校給食センターはできるのではないか。

A 職員の定数管理と密接な関係があり、それぞれの施設について将来どうしていくか研究を進めていく。また、図書館も町の政策としてどう考えるか検討したい。

Q 防災無線の本部はどこに置くのか。



屋外スピーカー



役場内防災無線本部



A 本部は役場に置き、今後運用、操作について説明会をしていく。

Q 仮称梅谷トンネルの開始はいつごろか。

A 池田工区分の工事整備は18年、19年で全て完了する。垂井工区分は、22年度の完了予定になっている。開通は23年度位ではないか。



(仮称)梅谷トンネル



表紙写真の説明

太郎ヶ城跡(第2次)発掘調査



太郎ヶ城は、本郷の豪族であった国枝為助氏が築いたとされる城です。国枝氏は文明年間(1469~1487)頃に田村(現神戸町)から池田の本郷へ移ってきたといわれ、また、為助が死去したのが明応4(1495)年なので、言い伝え通りならば、城はこの間に築かれたこととなります。

池田町無形文化財

片山八幡神社市軸

「今からおよそ三〇〇年前の寛永年間に大旱魃が続き、農作物は枯死寸前となりました。村人は老若男女が集まり一〇日間の雨乞い祈願を行ったところ、満願の未明から激しい雷雨となりました。」村人達は鉦や太鼓を打ち鳴らし、三日三晩踊り狂ったといわれています。この雨で満水した片山深町の

田面を、六尺もある大鯰が泳ぎ上がってきました。村人は、これは吉兆で神のお使いであると大鯰を神前に供え、笛、太鼓に合わせて神楽と鯰押さえを奉納しました。これが、片山八幡神社市軸の由来です。

編

集

後

記

三月、四月は別れと新しい出会いの複雑な想いの交錯する時期であり、自然界は桜花爛漫の素晴らしい季節でもあります。

三月、四月は別れと新しい出会いの複雑な想いの交錯する時期であり、自然界は桜花爛漫の素晴らしい季節でもあります。

議会報編集委員も新旧交替で新しい顔ぶれとなりました。

厳しい地方財政のなか、町議会も真剣に審ろしく願います。



議会広報編集委員

委員長 久保田重男
副委員長 牧村 隆
委員 五十川省五
委員 松岡 正彦
委員 岩谷 真海
委員 森嶋 和明

2100

は紙配合率100%再生紙を使用しています。



大豆油インキで印刷しています。